



2021年10月8日

PaMeLa 株式会社

第三者割当増資についてのお知らせ

大阪大学 大学院 生命機能研究科 中江 文 特任教授の研究成果を社会実装するために起業した PaMeLa 株式会社（大阪府吹田市、代表取締役：長谷川 新）は、シリーズ C ラウンドで総額 5.2 億円の第三者割当増資（以下、「本資金調達」）を完了いたしましたのでお知らせいたします。既存投資家である MedVenture Partners 株式会社（本社：東京都中央区日本橋、代表取締役：大下 創）、大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社（本社：大阪府吹田市、代表取締役：清水 速水）が運営する OUV C 1 号投資事業有限責任組合、帝國製薬株式会社（本社：香川県東かがわ市、代表取締役：藤岡 実佐子）に加え、新たにユニバーサルマテリアルズインキュベーター株式会社（本社：東京都中央区築地、代表取締役：木場 祥介）が運営する UMI2 号投資事業有限責任組合、京銀リース・キャピタル株式会社（本社：京都市下京区、代表取締役：竹中 伸一）等が運営する京銀輝く未来応援ファンド 2 号投資事業有限責任組合、NEC キャピタルソリューション株式会社（本社：東京都港区港南、代表取締役社長：今関 智雄）等が運営する価値共創ベンチャー 2 号有限責任事業組合、紀陽キャピタルマネジメント株式会社（本社：和歌山県和歌山市、代表取締役：丸岡 範夫）、第一生命保険株式会社（本社：東京都千代田区有楽町、代表取締役社長：稲垣 精二）が当社の株主に加わります。

<資金調達の目的>

本資金調達を受け、検証的治験を実施し薬事承認及び保険収載を目指すとともに、特許の国際的権利を獲得し、事業を加速させて参ります。

<痛み判定補助システム PMS-2（仮称）について>

手術後の痛みに対する疼痛管理において、痛みの客観的指標を示し、医師や看護師の疼痛管理を補助する機器です。病室のベッドサイドにおいて、小型脳波計で脳波を測定、AI で解析することで痛みを数値化し、今まで患者の主訴や医師の経験に依存してきた疼痛管理に客観的な指標を提供します。今後、病院での手術後の利用以外の分野に適用範囲を拡大します。



解析・表示部



小型脳波計



電極

<痛み判定補助システム PMS-2（仮称）による探索的治験の結果>

福井大学医学部附属病院にて全身麻酔手術後の患者 30 名を対象として行われた探索的医師主導治験が無事終了しました。脳波から算出した痛み推定値 Pain Score (PS) が鎮痛薬投与前に対して鎮痛薬投与後に有意に減少することを確認できました。

このことは脳波を基にした PS が痛みを反映することを明らかにした結果です。

本探索的治験は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) の橋渡し研究戦略的推進プログラム：シーズ C 研究開発課題名「手術後の痛みに対する鎮痛薬の薬効を客観的モニタリングする方法の開発」の支援の下、大阪大学橋渡し研究支援拠点の協力により実施され、本探索的治験で用いられた痛み判定補助システム PMS-2（仮称）は、上記研究開発課題の分担機関である PaMeLa 株式会社より提供され、実施されました。

<会社概要>

社名 PaMeLa 株式会社
代表者 代表取締役 長谷川 新
所在地 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-3
大阪大学生命システム棟 6 階 E601
資本金 9568 万円 (2021 年 10 月時点)
設立 2016 年 2 月
ウェブサイト <https://pain-ml.com>

<本件に関するお問い合わせ>

E-mail: pamela_affairs@pain-ml.com